月刊

地域保健 3

●座談会

地域ケア会議はこう生かす!

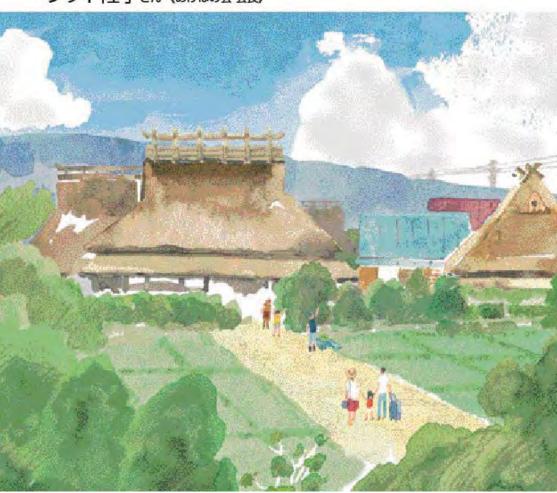
一多職種協働で生み出す成果に向けて

●統括に聞く

浅井澄代さん (埼玉県 保健医療部 保健医療政策課 副課長)

●ピープル

ワット隆子さん(あけぼの会会長)



7月

The Japanese Journal of Community Health Care [Vol.46.No.7]

8 座談会

地域ケア会議はこう生かす!

~多職種協働で生み出す成果に向けて~

●出席者 《敬称略》 髙橋 都子さん (厚生労働省 老健局 振興課) =司会

村中 峯子さん (日本看護協会 健康政策部)

小林由紀子さん (山梨県 福祉保健部 長寿社会課)

前田 惠子さん (高崎市福祉部長寿社会課)

田中 明美さん (生駒市 福祉部 高齢施策課)

池松こずえさん (北九州市 保健福祉局 地域支援部 いのちをつなぐネットワーク推進課)

- 1 統括に聞く 浅井澄代さん (埼玉県 保健医療部 保健医療政策課 副課長)
- 38 FOCUS お腹の中から始める口腔保健と発育支援 ~赤ちゃん歯科ネットワークが目指すもの~
- 52 REPORT-1 日本保健師連絡協議会 平成 26 年度活動報告・集会
- 54 REPORT・2 広島土砂災害における DPAT の活躍
- 97 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ!

岡崎 優さん (高知県中央東福祉保健所 健康障害課)

[102] ピープル ワット隆子さん (あけぼの会会長)

(62) 理解して生かす保健師用語《第4回》 「ソー

保健師のための閑話ケア《第55回》

「ソーシャルキャピタル」

-連 載

- (64) ESSAY 国際保健《第 4 回》
- 藤本裕明
- (70) 中臣さんの 環境衛生ウオッチング《第 40 回》
- 中臣昌広

松田正己

(75) いまどき子育てアドバイス 《第 214 回》

中川信子

情報呂口》

66)

80 ------ BOOK、月間レーダー、information、月間レーダー special edition!?

統括に聞く

埼玉県

^次の次の世代〟を育成するためにできること 周りの人に助けてもらえるからこそ、アグレッシブになれる



位 はのどかな農地も広がり、 勤する人たちが集中する一 の都市は東京のベッドタウンとして通 東京都に隣接する埼玉県は、 723万人が暮らしている。 内陸県としては第1位 方、 生産年齢の 0 人口を有 北部に 全 国 5 南部

療政策課副課長の浅井澄代さんだ。 141人をまとめているのが、 統括保健師として、埼玉県の保健師 保健医

人口割合も非常に高い。

幅 小児看護の臨床現場から 広い経験へと漕ぎだした

た。

師の養成課程へと進学。卒業後は民間 玉県の看護系の短期大学、 美しい町だ。 育った。伊豆半島 心に入職した。 健診機関での 浅井さんは、 看護の仕事を目指して埼 静岡県下田市で生まれ 年の経験を経て埼玉 の南に位置する海の さらに保健

0)

タ ĺ 最初の3年は埼玉県立小児医療セン の設立準備 開院に関わった。

> タートしたんです_ て活動したいと考え、 の経験と知識をつけてから保健師とし 持っていました。そこで、 などを中心に、母子保健にも興 の在宅でのケアや、病院と地域の連携 た。また、低体重で生まれたお子さん 埼玉で働きたいという思いがありまし 学生時代の実習が埼玉でしたので、 小児看護からス まずは臨床 味

4年目に埼玉県の保健所の勤務となっ 1 9 8 5 (昭和 60年 4 月 入職 後

うな形でした」 は市の保健師と一 の支援なども行っていましたが、 問やグループ活動、 を担当して精神障害のある方の家庭訪 診などを行っていました。 向いて、 「当初は、 市の保健師と協働して乳児健 市町村の保健センターへ出 緒に重層的に見るよ 結核の患者さんへ さらに地域 当時

県立精神保健総合センター その後は、本庁勤務をはじめ、 現 埼玉 埼玉

> 幅広 職員 げ、 産期 染症や難病支援、 さんのグループミーティング支援、 失調症を中心とした方のデイケア、 県立精神保健福祉センター) 保健所で実施する子育て中のお母 い経験を積んでい へのメンタルヘルスサポ からの虐待予防強化事業立ち上 埼玉県 職員健康支援課 での統 での 周

保健師としての活動の原点 ール支援で見えた

はとても大きな意味があり、 幅広い経験をさせていただいたこと 全てが今

地<mark>域保健 2015.</mark>

地域ケア全

多職種協働で生み出す成果に向け

保健師の役割と会議の活用方法を話し合う。 役割は大きいはずである。座談会では、地域ケア会議における 「予防」「医療」の視点を持ち込める職種として保健師の果たす 係の部署であるのが大きな理由だが、地域包括ケアシステムに てこないという声も多く聞かれる。会議の所管が介護・高齢関 ている。ところが、地域ケア会議において保健師の役割が見え 地域包括ケアシステムの構築に向けた作業が各地で進められ





◆日本看護協会 健康政策部

村中峯子さん



髙橋都子さん ◆厚生労働省 老健局 振興課



小林由紀子さん

◆北九州市 保健福祉局 地域支援部



前田恵子さん



◆生駒市 福祉部 高齢施策課 田中明美さん



包括ケア推進官をしています。 きょうは政令市、 厚生労働省老健局振興課で地域 司会を務めさせていただく髙橋

で企画委員を務められた、日本看護協 そして都道府県から、地域ケア会議(図 会の村中峯子さんにも加わっていただ 生労働省の地域ケア会議に関する研修 んに来ていただきました。さらに、厚 1) に関わっておられる保健師の皆さ 中核市、 一般市、

最初に自己紹介をお願いします。

田中 部高齢施策課で課長補佐をしていま 奈良県生駒市の田中です。 福祉

とに伴って異動となり、 進係を置く高齢施策課が設置されたこ ました。今年度から新たに包括ケア推 を遂行しているところです。 昨年までは介護保険課に所属してい 今そこで職務

> 祉活動の総括業務も行っています。 師を兼ねており、地域における保健福 地域包括ケア推進担当課長が統括保健 の運営取りまとめをする部署ですが、 る地域包括支援センター ています。当課は、直営で設置してい 局地域支援部の「いのちをつなぐネッ トワーク推進課」で地域支援係長をし 北九州市の池松です。保健福祉 (以下、包括)

帯になっています。局内外の他部署と 連携しながら地域包括ケアを推進して 配置され係員もついて、ますます大所 度は、総合事業担当係長(事務職)が 担当課長および同担当係長(事務職) (平成26) 年度は、地域包括ケア推進 するプロジェクト会議が設置され、 25) 年度に、局内で地域包括ケアに関 が新たに配置されました。また、今年 になります。 いくために、 私は、 今の部署に配置されて3年目 初年度の2013 新たなスター トを切った (平成 14

> 域包括ケアの推進を主担当とする保健 認知症・地域支援担当をしている小林 が始まっています。 師が配置され、その時点から取り組み 山梨県では10 (平成22) 年に地 山梨県福祉保健部長寿社会課で

> > 10

わっていました。その保健福祉事務所 居宅介護支援事業者の実地指導に関 からです。それまでは保健福祉事務所 していました。 に県長寿社会課の保健師と共に支援も 町村が地域ケア会議を推進できるよう い村も含めた12市町村を管轄し、 は人口900人に満たないような小さ の介護保険担当の部署で2年間、 私が今の部署に来たのは、この 各市 主に **4**月

村の実態も含めてお話しできるかと思

県の立場からですが、

山梨県の市町

社会課の地域包括支援担当をしていま 群馬県高崎市の前田です。 長寿

務とか総合事業の実施に携わっていま 査を担当していました。現在は包括業 ですが、その前は介護保険課で認定調 まで直営1カ所の9拠点でしたが、 す。包括は06(平成18)年から昨年度 今の部署には昨年異動してきたの

> した。 型センター26カ所へと大きく変わりま 年度から基幹型センター 1カ所、 地域

よいのかを今考えているところです。 会議をどう位置付け、 体制が変わったところで、 展開していけば 地域ケア

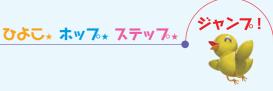
> 師 が 10 題となっています。 基幹型センターには管理職を含め保健 ア会議を展開していけばよいのかが課 センターとどのように協働し、 人配置されているので、 地域型 地域ケ



たかはし・くにこ●

岡山県公衆衛生看護学校卒業。1991年北九州 市役所に入職。市の地区担当保健師をはじめ、 結核・感染症専任部門や精神保健福祉相談員の 介護保険課などを経て、2014年より 厚生労働省老健局振興課に勤務。現在は、地域 包括ケアシステムの構築に向けて、「地域づく り」としての「介護予防・日常生活支援総合事 業」の実施などを推進。

地域保健 2015.7 地域保健 2015.7 11



専門職間をつなげる コーディネート力を伸ばしていきたい

包括的視点から問題を見られる保健師を目指して



文:編集部 写真: C.Kent

坂本龍馬など多くの幕末の志士や、坂本龍馬など多くの幕末の志士や、市内の商店街を歩いている高知県。高知たちを多数輩出している高知県。高知たちを多数輩出している高知県。高知たちを多数輩出しているという。

えてくれた。

えてくれた。

って言います」と教育で、はちきん、って言います」と教行で、よういった女性のことを、土佐くて、そういった女性のことを、土佐話すと、「高知には男勝りな女性が多話すと、「高知には男勝りな女性が多い。

から同保健所に出向している。 5年目を迎える。この4月から人事交流の制度により、高知県本山町 役場ではない。

きたが、

農繁期だから騒がしい

のだろ

ところがその

遠くから人の声らしきものが聞こえて

ある朝、

岡崎さんが目覚めたとき、

1時間後に部屋に戻ると、うと気に留めなかった。よ

また同じよ

できるようになりたい自信を持って人助け

岡崎さんは高知県土佐清水市の、定 ででででいた。 とまれ育った。民宿を営んでいた祖母 が大好きで、よく遊びに行っていたと が大好きで、よく遊びに行っていたと が大好きで、よく遊びに行っていたと が大好きで、よく遊びに行っていたと

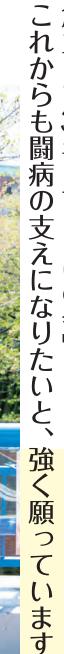
高校2年生のとき、祖母が脳梗塞により病院で寝たきりの状態になると、いつかは自宅に連れて帰ってあげたいと思い、リハビリ職に興味を持つようになっていった。そんな中、高校3年になっていった。そんな中、高校3年

そこに行くことができず、父に行ってえてきた。岡﨑さんは怖くて自分では母と80歳の娘の親子が住む家から聞こか、来て……」と、近所の100歳のか、来で……」と、近所の100歳のか、来で……」と、近所の100歳の



▲課長の澤本さん(右)とチーフの片岡さん(左)と。3人が持つのは高知県のキャラクター、健康づくり声かけ隊長「古江掛増代(こえかけますよ)さん」

創立 年。 「あけぼ 強く





あけぼの会 会長

聞き手 白井美樹

(ライター

である の会の活動は多岐にわたるが、 29にのぼる日本最大の乳がん患者支援団体の会長を務めている。 の自らの体験をきっかけに、1978 ている。そんなワットさんに、 「あけぼの会」 について語ってもらった。 ワット隆子さんは、 「ピンクリボン運動」を、 を設立。現在では会員が3000人を超え、 37歳のときに乳がんが発覚し、 9、広く世間に認知させた実績でも知られ乳がんの早期発見、早期治療の啓発運動 会の設立の経緯や、 (昭和53) 年、 運営実態、 乳がん体験者の会 手術を受けた。 支部の数も 近況など あけぼ

自己検診で気付い

うな状況だったのですか? 乳がんだと分かったときは、 どのよ

リたのですが、 ワット 5年間 がんの触診法を教えていただいてい 出産したときに、 月目のことでした。 月に1回自己検診することにし 5年間ニューヨー 日本に帰ってきて2カ アメリカで息子を の先生から乳 クに住んで

> のです。 赤医療センターに行き、 しこりに触れたので、 ていたのです。 すると、 すぐに近くの日 ある日 検査を受けた 一小さな

を言われましたか? 診断では、 医師からどのようなこと

で、

性だと思うので、 に小さなしこりがありますが、 検査の結果を見ながら、 触診の後、 しばらく様子を見る マン 医師は モグラ ´フィ 90 % 良 「確か

1940年旧満州国奉天に生まれる。1977年乳がんの 手術を受ける。1978年自らの体験を生かして、乳がん 患者、体験者の全国的なセルフヘルプグループ「あけ ぼの会」を組織。1987年エイボン女性教育賞、1988 年保健文化賞、2000年テレサ・ラッサー賞を受賞。『が ん患者に贈る 愛と勇気の玉手箱』(同友館)、『ワット さんのALS物語」(ヴィゴラス・メド)など著書多数。

の結果、 かも、 ことにします パ節に2カ所も転移していたことも分 さらに組織検査もしてもらい、 私は10 手術を受けてみると、 納得が 悪性だと分かったのです。 いきませんでし か?」と聞きました。 %良性というのでなけ 腋下リン そこ で 写真: カミヤス セイ

103 地域保健 2015.7

りました。